

教員・職員・学生のコラボレーションでつくれた 9年間 18,000人の 18,000通りの「自立と体験1」

【授業の概要】

全学共通、2単位、1年前期必修科目、金1・金2・土1・土2(クラス指定)
 キーワード：・明星大生になる・学部・学科を超えた交流・自己理解
 ・卒業後の自分・学生生活のデザイン
 1年生約2,000人、70クラス(30人-32人)、9年間の履修学生18,000人
 担当教員51-55人、うち専任教員41-46人、SA82-102人 SAコーチ6-9人
 9年間の担当教員 延べ474人(全学の専任教員の約8割が授業を経験)

【授業の特徴】

- 1.学部学科横断型クラス編成(70クラス)のアクティブラーニング型授業
- 2.30人の少人数クラスで協同学習、体験学習を実施
- 3.各学部の専任教員を中心に、ファシリテーターとして授業を実施
- 4.共通シラバス、共通教案、共通教材(ポートフォリオ)による授業実施
- 5.SA(スチューデントアシスタント)、SAコーチによる授業サポート
- 6.学長や大学の様々な部署の教職員が関わり大学全体で新入生を迎える

【カリキュラム構成】

第一節 人と関わる 4/13~				
オリエンテーション	新しい環境で他者と出会う	大学での学びを考へる	聴いて相手の理解を深める	話し合いを体験する
第二節 人と関わる・学びのスタートを切る 6/1~				
明星大学を知る	明星大学を紹介する	図書館にふれる	大学職員に取材する	自分や相手の大切さを知る
第7回~第11回 ローテーション授業				
第三節 大学生活を見通す 7/6~				
卒業生から学ぶ	自分の特徴を知る	これからの大学生活を描く	未来の自分へのメッセージ	

【1コマ(90分)の進め方】(例)

ねらいと授業内容の確認
・アイスブレイク・チームビルディング・前週とのつながり
個人ワーク
・テーマについて個人でポートフォリオ・シート・ポストイットに記入
グループでの活動
・グループで話し合い・ポストイットワーク・ポスター等制作
全体で共有
・グループ代表発表・回禮等により共有・個人で発表発表
振り返り
・個人でポートフォリオ記入・グループ内で振り返り共有・全体共有

【この授業が目指す到達目標】

初年次教育として

- 1.学生生活や学習習慣などの自己管理能力
- 2.大学という場の理解
- 3.人として守るべき規範理解
- 4.大学の中で人間関係構築
- 5.大学で学ぶためのスタディスキル
- 6.大学で学ぶための思考方法
- 7.能動的で、自立・自律的な学習への転換

キャリア教育として

- 1.将来を見通して大学生活の計画を立てる
- 2.1年生から活かせるスキル(汎用能力)を身に付ける



多様なメンバーとの学びから大学全体への影響 (1年生の変化、上級生の変化、担当教員の変化 他)

【数字で見る成果】

- 学生の自己評価：以下の4項目で**9年連続プラスに変化**
 「自分の意見を筋道立てて話す」「自分の意見を文章でわかりやすく表現する」「明星大学の歴史や教育の特色を知っている」「大学の図書館の利用方法について知っている」
- 学生の授業の特徴に対する評価：以下の3項目で肯定的回答が**90%超**
 「少人数クラス」「グループでの学習活動」「他学部・他学科の学生との交流」
- 出席率：9年間の平均が**85.3%**
- 単位修得率：9年間の平均が**93.8%**

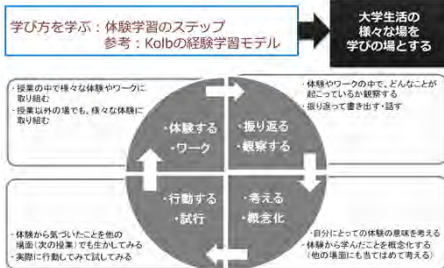
【変化：間接的な成果】

- 離籍者の減少**(他の要因の影響も含む)
 4年在籍率 **77.7%**(H27年入学者)※参考:66.3%(H21入学者)
 3年在籍率 **85.5%**(H28年入学者)※参考:73.7%(H21入学者)
 H22入学者より「自立と体験1」開講
- 学生の課外活動**活性化**(他の要因の影響も含む)
 ボランティア活動・インターンシップ参加者数、クラブ・サークル加入率向上
- アクティブラーニング型学習方法を体験した教員・学生の増加**
 特に、担当教員が**学部の授業でもアクティブラーニング型学習方法を活用**



組織的展開を支える仕組み：授業実施の工夫・運営上の工夫・明星教育センターの役割

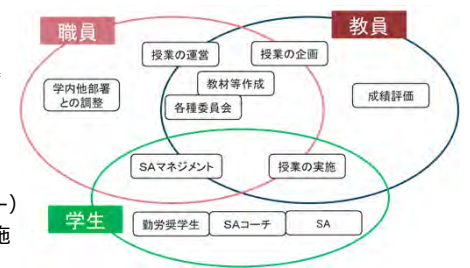
【大学で学ぶための思考方法：振り返りにより考える力をつける】



【明星教育センターの取り組み】

- 1.教案・ポートフォリオの作成・改訂
- 2.授業内配付資料等教材の準備
- 3.使用資材(模造紙・マーカー等)の準備
- 4.全学同時実施のための代講の手配
- 5.SA/T Aの募集・教育・手配
- 6.担当教員サポート(事前研修・ランチミーティング・ニュースレター)
- 7.授業成果検証のためのアンケート等の実施

【明星教育センターの教職学協働】



【今後に向けて】

- ・学生の主体的な学びを、2年次以降へ接続する。
- ・汎用的な能力の育成を目指す授業の成果の1つとして長期的効果を検証する。